

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和元年度（2019年度）病虫害発生予察注意報第1号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

令和元年度（2019年度）病虫害発生予察注意報第1号

農作物名 早植え水稻、普通期水稻（6月上旬までの移植）
病虫害名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 7月下旬以降
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発表の根拠

- (1) 6月7日～10日、7月1日～3日、7月14日にトビイロウンカのまとまった飛来があり、6月第1半旬から7月第3半旬における予察灯のトビイロウンカの累積誘殺数は80頭（平年36.4頭、前年5頭）で平年より多い（図1）。まだ梅雨明けしていないため、今後も飛来する可能性がある。
- (2) 5月中旬移植の無防除水田（合志市）では6月下旬からトビイロウンカの発生が確認された。7月中旬の調査で30株あたりの成幼虫数は22頭と過去4カ年（平均4頭）より多く（図2）、雌成虫における増殖能力の高い短翅型の発生率は100%であった。
- (3) 福岡管区気象台が6月25日に発表した九州北部地方3か月予報によると、7月の気温は平年より低い予想であるが、8月は平年並、9月は平年並か高い予想であり、トビイロウンカの増殖に好適な条件である。

5 防除対策

- (1) 6月7日、7月1日及び7月14日の飛来個体を対象とした各地域の予想される防除適期（幼虫ふ化）は、表1のとおりである。ほ場での発生状況を確認し、本田防除を行う。1回目を6月7日飛来個体の第二世代幼虫か7月1日飛来個体の第一世代幼虫を対象に実施し、発生状況により、2回目を7月1日飛来個体の第二世代幼虫対象に実施することを推奨する。今後の飛来状況や気象条件によっては、防除適期がずれる可能性があるため、最新の防除適期については防除所のホームページ（<http://www.jpnp.ne.jp/kumamoto/>）で確認する。
- (2) トビイロウンカは増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも8月下旬以降には高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。定期的に発生量を確認し、要防除水準を超えた場合は、ただちに防除する（要防除水準：7月中旬～8月上旬（2頭/10株）、8月中～下旬（10頭/10株）、収穫30日前（30頭/10株）。

- (3) トビイロウンカは、水稻の株元近くに寄生しているため、粉剤及び液剤は、株元に付着するように散布する。
- (4) トビイロウンカは、イミダクロプリド剤やBPMC剤に対する感受性が低下している。(平成30年3月14日付技術情報第14号http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/H29/yosatu/180314gi_jyutu.pdf参照)ので、防除に使用する薬剤の選定には注意する。
- (5) 飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注意する。
- (6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

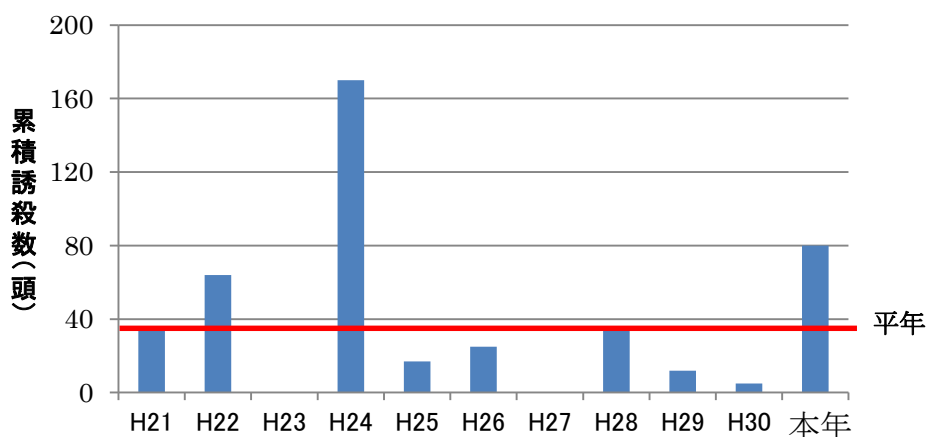


図1 予察灯におけるトビイロウンカの累積誘殺数 (6月第1半旬から7月第3半旬)

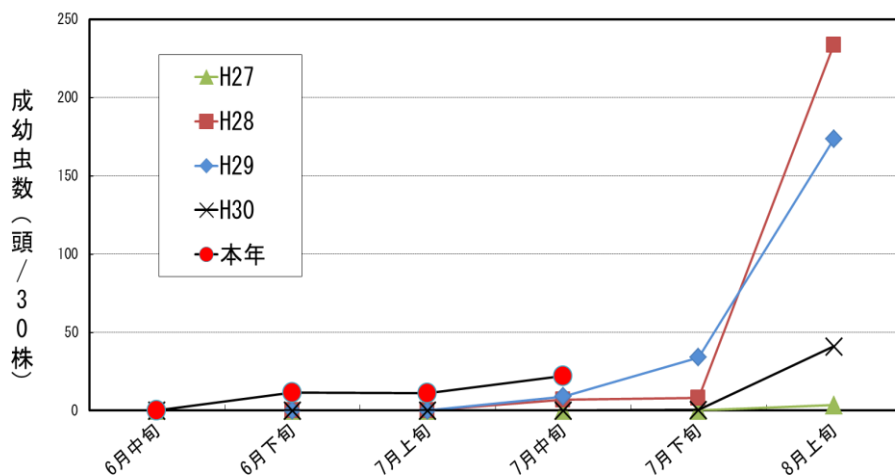


図2 無防除水田 (5月中旬移植) におけるトビイロウンカの発生推移

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係)
 担当：坂本、作本 TEL 096-248-6490

表1 予想されるトビイロウンカの防除適期^{注)}
(6月7日飛来)

★1：推奨する防除適期（1回目）
★2：推奨する防除適期（2回目）

地点	★1 防除適期 ^{注)} (第二世代幼虫)
熊本	7月30日～8月5日
三角	8月1～7日
岱明	7月31日～8月6日
鹿北	8月6～12日
菊池	8月3～9日
阿蘇乙姫	8月14～20日
甲佐	8月3～9日
八代	8月1～7日
水俣	8月3～9日
人吉	8月4～10日
本渡	8月4～10日

注)・6月7日、7月1日、7月14日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月15日までは今年のデータ、7月16日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

(7月1日飛来)

地点	★1 防除適期 ^{注)} (第一世代幼虫)	★2 防除適期 ^{注)} (第二世代幼虫)
熊本	7月21～27日	8月18～24日
三角	7月22～28日	8月19～25日
岱明	7月21～27日	8月18～24日
鹿北	7月22～28日	8月22～28日
菊池	7月22～28日	8月20～26日
阿蘇乙姫	7月26～8月1日	8月30日～9月5日
甲佐	7月22～28日	8月20～26日
八代	7月22～28日	8月19～25日
水俣	7月22～28日	8月20～26日
人吉	7月22～28日	8月21～27日
本渡	7月23～29日	8月21～27日

(7月14日飛来)

地点	防除適期 ^{注)} (第一世代幼虫)	防除適期 ^{注)} (第二世代幼虫)
熊本	7月31日～8月6日	8月28日～9月3日
三角	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日
岱明	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日
鹿北	8月1～7日	9月2～8日
菊池	8月1～7日	8月30日～9月5日
阿蘇乙姫	8月5～11日	9月11～17日
甲佐	8月1～7日	8月30日～9月5日
八代	7月31日～8月6日	8月29日～9月4日
水俣	8月1～7日	8月30日～9月5日
人吉	8月1～7日	8月31日～9月6日
本渡	8月1～7日	8月30日～9月5日